

# 国語科学習指導案

日 時：平成25年11月12日（火）  
場 所：碧南市立東中学校 1年3組教室  
授業者：小野田 薫

- 1 単 元 つながりを読む「大人になれなかった弟たちに…」
- 2 指導計画（6時間完了）
  - (1) 全文を通読し、どのような時代の作品であるかをとらえる。 1時間
  - (2) 「僕」や「母」の行動や描写に着目し、その気持ちを考える。 3時間
  - (3) 物語に登場する人々の思いや行動について、感じたこと・考えたことを発表する。 1時間  
(本時 1/1)
  - (4) 題名から読み取れる作者の思いを考えて話し合う。 1時間
- 3 本 時
  - (1) 目 標 ・積極的に話し合おうとする態度、相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。  
・人物の行動や情景描写から心情を読み取ることができる。
  - (2) 構 想  
 本学級は、明るく元気な生徒が多く、発言も活発である。しかしその一方で、わかっているにもかかわらず自分の考えを発表できない生徒もおり、積極的な話し合いのできるグループとそうでないグループとに分かれている。同じ意見をもつ生徒が集まる討論会という形であれば、自分の考えに自信をもつことができ、挙手・発言に消極的な生徒も参加しやすくなるのではないかと考えた。  
 さらに、場面の読み取りに討論会を取り入れ、「戦争の悲惨さ」や「戦時中の生活の苦しさ」について考えることで、より深く場面の読み取りができるのではないかと考えた。互いの立場や考えを尊重し、言葉で伝え合うことで、今まで以上に深い読み取りができるようになるであろう。
  - (3) 準 備 教師：ワークシート  
生徒：教科書、ノート、ファイル、学習漢字ノート、漢字ノート
  - (4) 展 開

※ 太字はかかわりあいのための手だて

時間	生徒の活動と内容	教師の支援・指導上の留意点
導入 3分	1 前時までの学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までの学習で、どのようなことが疑問点として挙げられていたかを確認する。</li> <li>・ 本時の目標を示し、学習の見通しをもたせる。</li> </ul>
	2 本時の目標をノートに書き写す。	
互いの意見を交流し、読みを深めよう。		
展開 5分	3 討論会の手順の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>司会、記録等の係を決めておく。</b></li> <li>・ <b>討論会の手順を掲示して説明する。</b></li> </ul>
	ヒロユキのミルクを盗み飲みしてしまった「僕」の気持ちに共感できるかどうかを討論してみよう。	
	4 ヒロユキのミルクを盗み飲みしてしまった「僕」の行為について討論する。 (1) 「共感できる」とする肯定側の意見を発表する。(否定側は必要な箇所をメモしながら聞く。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>前時の感想をもとに、「共感できる」(肯定側)、「共感できない」(否定側)、フロア(判定役)の3つにクラスを分ける。</b></li> <li>・ <b>グループ内で順に発表させる。</b></li> <li>・ ページごとに線を引いたところを発表させ、板書する。</li> <li>・ <b>意見の付け足しなどがある場合はハンドサインを活用して発表させる。</b></li> </ul>
	☆ そのころ、甘いものはぜんぜんなかったのです。	
	☆ 食いしん坊だった僕には、甘い甘い弟のミルクは、よだれが出るほど飲みたいものでした。	
	☆ でも、僕はかくれて、ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。	
	☆ 僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。	

<p>展開 10分</p>	<p>(2)「共感できない」とする否定側の意見を発表する。(肯定側は必要な箇所をメモしながら聞く。)</p> <p>☆ 母は自分が食べないので、お乳が出なくなりました。</p> <p>☆ ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な食べ物でした…。</p> <p>☆ 母は、よく言いました。ミルクはヒロユキのご飯だから、ヒロユキはそれしか食べられないのだからとー。</p> <p>☆ 僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。</p>	<p>【評】意：発言のルールを守って挙手、発言できたか。 (観察)</p>
<p>15分</p>	<p>(3) 作戦タイム</p>	<p>・ 何を聞き出したいのかという目的をしっかりと持たせ、質問する内容と誰が聞くかを決めさせる。</p>
<p>20分</p>	<p>(4) 否定側(「共感できない」とするグループ)が尋問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちの発表に有利になるようもっていく。</li> <li>・ 相手の発言の不明な点、矛盾点などを確認する。</li> <li>・ 否定側の質問に肯定側が答える。</li> </ul>	<p>・ 攻撃的になりすぎないように、礼儀正しく行えるよう注意させる。</p> <p>・ 意見の付け足しや質問などがある場合はハンドサインを活用して発表させる。</p>
<p>25分</p>	<p>(5)肯定側(「共感できる」とするグループ)が尋問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の発言の不明な点、矛盾点などを確認する。</li> <li>・ 自分たちの発表に有利になるようもっていく。</li> <li>・ 肯定側の質問に否定側が答える。</li> </ul>	<p>【評】発言のルールを守って挙手、発言できたか。 (観察)</p> <p>【評】教科書の記述に根拠をもとめることができていたか。(発表の様子・ワークシートの記述)</p>
<p>30分</p>	<p>(6)フロアからの質問</p>	<p>・ フロアの生徒を何名か指名し、質問や意見などを出させる。</p> <p>【評】手順にのっとって討論することができたか。 (発表の様子)</p>
<p>終末 35分</p>	<p>5 本時のまとめをする</p> <p>(1) 討論を振り返って、どちらの意見により納得できたかを発表する。</p> <p>(2)自分の気持ちとしては、どちらの意見により共感できたかをワークシートにまとめる。</p>	<p>・ フロアの生徒数名に発表させる。</p> <p>・ 討論会をもとに総合的に判断した上で、自分の考えをワークシートにまとめさせる。</p> <p>・ 交流をする前と後で考えが変わったことや、互いの発表を聞いての感想を中心にまとめさせる。</p> <p>・ 「飲んでしまいました」という表現に注目させる。</p> <p>・ 戦争さえなければ「僕」が一生罪悪感を背負うことも、ヒロユキが死ぬこともなかったということを考えさせる。</p> <p>【評】ワークシート</p> <p>・ 次時の授業の予告をする。</p>
<p>視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読みを深める手だてとして、討論会は有効であったか。</li> <li>・ 話し合い活動に消極的な生徒も参加することができたか。</li> </ul>	

(5) 板書計画

大人になれなかった弟たちに…

ヒロユキのミルクを盗み飲みしてしまった「僕」の気持ちに共感できるかどうかを討論してみよう。

(共感できる)

・そのころ、甘いものはぜんぜんなかったのです。

・食いしん坊だった僕には、甘い甘い弟のミルクは、よだれが出るほど飲みたいものでした。

↓甘いものがぜんぜんなかった時代だから仕方がない。

・でも、僕はかくれて、ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。

↓「かくれて」「盗み飲みしてしまいました」とあるから悪いことだというのはよくわかっている。

・僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。

↓「僕」もまだ子どもだから、悪いと思ってもやっってしまうこともある。

(共感できない)

・母は自分が食べないので、お乳が出なくなりました。

・ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な食べ物でした…。

↓お乳がもらえなくなったヒロユキはミルクしか食べるものがないから。

・母は、よく言いました。ミルクはヒロユキのご飯だから、ヒロユキはそれしか食べられないのだからと！。

↓母に何度も言われたのに、飲んでしまったから。

・僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。

↓本当に悪いことだと思っていたら、何回も飲まないから。